

SOLIDE

Solution de l'INPP pour des Entreprises

ニュースレター第1号 2015年8月

SOLIDEとは？ / プロジェクトの始まり / 私たちの活動

HP: <http://www.inpp.cd/>, FB: <https://web.facebook.com/profile.php?id=100009971476161>
10, 06eme Rue Limete Industriel, INPP/DG 03, 11eme Rue Limete Industriel, INPP/Dipro-Kin

SOLIDEとは？

■ 記念すべき**SOLIDE**ニュースレター第1号の発行です！

SOLIDEとは、“**Solution de l'INPP pour des Entreprises**”（企業を応援するINPP）の略で、プロジェクトの愛称です。本プロジェクトは2015年から2020年までの5年間実施されるJICAの技術協力プロジェクトで、2014年11月6日に討議議事録（Record of Discussions：以下、R/D）にて枠組みが合意されました。

■ **SOLIDE**の目的は、国立職業訓練機構（INPP:Institut National de Préparation Professionnelle）の能力強化です。INPPがコンゴ民主共和国における産業界のニーズに基づく人材育成をしっかりと行うようになるための活動をしています。

■ 本目的を達成するために、プロジェクト開始当初は4つの成果が設定されていました。

成果1は、訓練計画と手順マニュアルの作成、**成果2**および**成果3**は自動車整備や特殊溶接などのコースの能力向上のための日本人専門家によるマスタートレーナー研修の実施、**成果4**はINPPの就業起業支援体制の強化です。

これら4つの成果に加え、新たに2つの成果が**成果0**、**成果5**として正式に加えられました。**成果0**は訓練管理体制および環境の改善、**成果5**は全成果の効果を測るための試験的な活動です。

特に**成果5**は、INPP修了後の収入獲得メカニズムを構築するため、職業訓練機構として重要なミッションになります。

* 成果0および成果5は間もなく正式に承認される予定です。

上位目標

INPPが産業界のニーズに合致した人材を輩出する

プロジェクト目標

産業界のニーズに基づく人材養成を行うためのINPPの機能が強化される

成果-5：就業起業機会拡大のための
パイロット・プロジェクトの実施

試験的調査

成果-4：就業・起業支援体制が強化される

成果-2
自動車整備科における
能力強化

成果-3
専門科目（油空圧・特殊溶接・
自動制御）における能力強化

成果-1：訓練計画および手順マニュアルの開発

成果-0：訓練管理体制および環境の改善

プロジェクトの始まり

■ 2015年3月27日に、関係者出席のもと、**第1回合同調整委員会（JCC）**がINPPキンシャサ校で実施され、プロジェクトが正式に開始されました。

■ プロジェクト総括よりプロジェクトの概要が説明され、プロジェクトが提案したワークプランが正式に認められました。

INPPのチクヤ総裁およびJICAコンゴ民事務所の興津次長よりスピーチをいただき、大きな期待の意が述べられました。

■ チクヤ総裁のスピーチの最後に、プロジェクト呼称として、「**SOLIDE**」の名前とロゴが発表されました。



チクヤ総裁（中央）と関係参加者の様子
（2015年3月27日）



成果1：訓練計画および手順マニュアルの開発

- 成果1は、主に2つの活動から構成されています。一つは**訓練管理サイクル（CGF）に係る活動**、もう一つは**訓練ニーズ調査**に係る活動です。
- 訓練ニーズ調査は日本人専門家とワーキンググループメンバーによって、2015年4月から5月に約50社の企業へのアンケートにより実施されました。本調査結果を参考に、CGFワーキンググループメンバーが日本人専門家と活動を行いました。

CUDBASとは？

- ✓ CUDBASとは、“A method of Curriculum Development Based on Vocational Ability Structure”. の略で、**従業員の必要な能力、技術、知識をリスト化し、体系的に整理して短期訓練の効果的なカリキュラムを開発するもの**です。
- ✓ 企業での経験の長いベテラン従業員とINPPマスタートレーナーがワークショップに参加し、能力評価表を作成しました。また、CGFワーキンググループから**選ばれた2名が同ワークショップのファシリテーション**を行いました。
- ✓ 能力評価表は同企業に持ち帰り、責任者はそれを基に従業員を評価することが求められます。また、INPPは評価結果をまとめることで能力マップが作成され、**従業員の強み、弱みを特定し、企業の詳細な訓練ニーズを把握することができる**のです。

- 2015年7月に、CGFメンバーによる活動結果が企業や労働組合に対し発表され、賞賛されました。



日本人専門家およびニーズ調査ワーキンググループの活動の様子 (2015年4月～5月)



企業のINPP訪問の様子 (2015年5月)



CGFメンバーによる活動結果報告 (2015年6月)



日本人専門家とCGFメンバーの活動の様子 (2015年6月)

成果2：自動車整備科の能力強化

- 5名のマスタートレーナーが先行プロジェクトの研修結果を基に選出され、ガソリン、ディーゼル、アンダーボディーに係るマスタートレーナー研修が日本人専門家により、2015年3月から5月まで実施されました。
- 2015年の6月末から7月初めまで、5名のマスタートレーナーが本邦研修に参加し、インジェクションポンプやスマートハウスなどの知識と技術を学び、日本の自動車に係る新しい技術を学びました。帰国後にはINPPにおいて、日本で学んだことおよびそれを基にしたアクションプランが70名以上の参加者に対して発表されました。
- 上記のマスタートレーナー研修に続き、2015年11月より開始される予定のTOT準備が開始されました。



マスタートレーナー研修 (理論) (2015年3月～5月)



マスタートレーナー本邦研修 (2015年6月～7月)



マスタートレーナー研修 (実習) (2015年4月～5月)



TOT準備 (2015年8月～10月)



5S、3Rと安全

本邦研修最終日、報告会にてJICA本部湯浅氏より総評 (2015年7月)

成果3：専門科目（油圧/空圧・自動制御・特殊溶接）の能力強化

油圧・空圧

■ 2015年5月に、日本人専門家がINPPキンシャサ校にてマスタートレーナー研修を実施しました。キンシャサ校の既存の材料で空圧機械を作製する方法を伝授しました。

■ 次回の日本人専門家によるマスタートレーナー研修は2015年10月から11月に実施される予定です。



日本人専門家と油空圧マスタートレーナーの活動(2015年5月～7月)

自動制御

■ セネガルCFPTでの研修後、日本人専門家により、キンシャサの企業における自動制御技術の使用状況の確認が行われました。また、8名のマスタートレーナーを対象に電気、電子、冷蔵空調分野における同技術の使用に関する説明が行われました。

■ また、同専門家により、既存および新規の機材を使用した教材作成に係る5日間の研修がマスタートレーナーを対象に実施されました。

■ 自動制御は、一人の人間が習得可能な範囲を超えるほどの幅広い専門性が必要なことから、自動制御の定義とプロジェクトにおける研修の最終目標、適切な研修の実施について協議を続けることになりました。



PLCマスタートレーナーへの実習(2015年7月)

特殊溶接

■ 日本人専門家がマスタートレーナーおよび産業界の技術レベルを把握するため、キンシャサ入りしました。技術レベルを確認した上で、日本で承認されている教材をプロジェクトの研修において使用することとしました。

■ マスタートレーナー研修は、2015年9月から実施されます。



PLCマスタートレーナーへの理論研修(2015年7月)



日本人専門家と特殊溶接専門家の活動(2015年4月)



溶接技術を使用している企業訪問(2015年4月)

成果4：就業起業支援体制の強化

■ 成果4の活動の目的は、INPPの就業起業支援体制を強化させることです。サブワーキンググループの10名が日本人専門家のサポートのもと活動を行っています。活動内容は以下の通りです。

- ✓ INPP訓練生を対象とした、起業に係る情報を提供する起業セミナーの定期開催
- ✓ INPP修了生のモニタリング調査
- ✓ 就業支援機関との連携と情報収集

■ 起業セミナーはONEMやSODEICなどの関係機関から講師を招き、継続的に実施されています。

■ コンゴ民での活動に加え、2015年9月には日本の好事例を学ぶため本邦研修を実施する予定です。



日本人専門家とサブワーキンググループによる活動(2015年5月～6月)



起業セミナーの様子(2015年8月)

成果0および成果5

■ 次号のニュースレターにて掲載予定。

その他の活動 (2015年2月～8月)

第1回月例会議
2015年
7月実施



SOLIDEは国立職業訓練機構 (INPP) の能力強化を通して貧困削減に資することを目的としたコンゴ民と日本間の技術協力プロジェクトです。



広報グッズを用いた
広報活動の開始
(2015年8月)



KAIZEN
車輛手配方法
の見直し
(2015年8月)



機材管理に係る
OJTの実施
(2015年6月)



企業訪問
2015年8月



JICA
短期専門家
伊東氏
2015年6月

